

2026年度 枝豆栽培 作業記録

◆ みかん山下圃場 M31～M39 : 2 3 4 m²

(※M31～M34 : 2 m x 12m , M35 : 2 m x 13m , M36・M37 : 2 m x 15m)

✓ 植え付け品種

1. サッポロミドリ 2. おつな姫

✓ 畝当たりの播種数

・160粒 (12m/0.3m x 2粒/穴 x 2条)

・200粒 (15m/0.3m x 2粒/穴 x 2条)

✓ 収穫量の目安

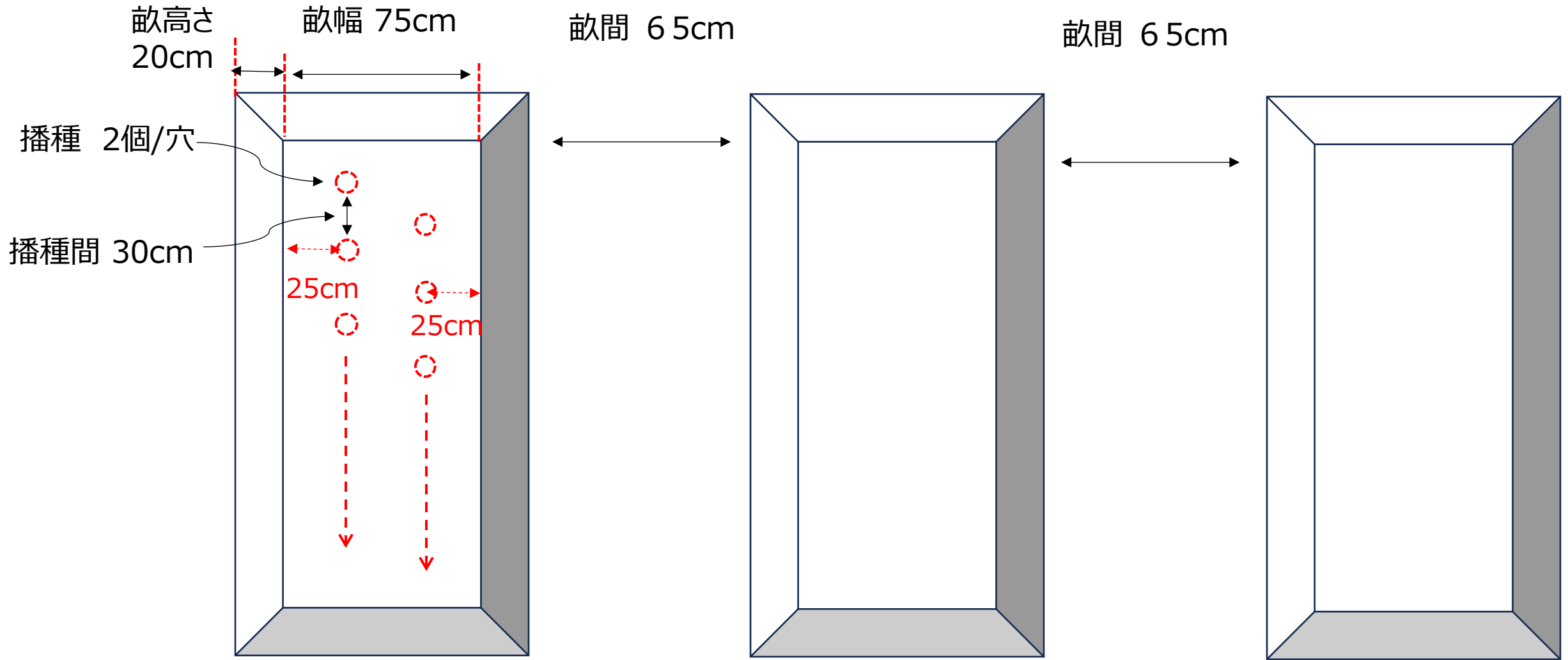
種の発芽率 : 70% (最低) とする

畝当たり : 110~140株 (160 x 0.7、200x0.7)

✓ 1品種当たりの畝数

4畝 : 400株【会員数120名 x 2株 + 150株 (収穫祭等)】

✓ 畝たて図案



✓ 検討項目

1. 防虫ネットの効果判定

カメムシ等の防虫対策として、

- ・1品種当たり、一畝に防虫ネットを張る。
- ・防虫ネットの張る時期：摘芯を行い、土寄せ終了後。

2. もみ殻の撒布効果判定

雑草、日照り等の乾燥の緩和効果として、

- ・1品種当たり、一畝にもみ殻を撒布。
- ・撒布時期：①播種後 ②摘芯 ③土寄せ後

3. 木酢液の効果判定

カメムシ等の防虫対策として、

- ・1品種当たり、一畝に木酢液の撒布。

◆作業記録

✓ 畝たて作業 2026年3月21日（土） 9:00～10:30 晴

- ・畝幅75cm、畝間50cm、畝高約20cmとして、南北の方向にメジャーを使い、竹杭で目印をつける。
- ・二輪管理機で畝間を耕うんしながら溝を作る。溝は1回の耕うんでは浅いので2往復して深くする。
- ・圃場の関係から、途中（東側）から東西の方向に畝を立てるよう変更した。
- ・畝の形を整えるため、鍬で畝間の溝の土を畝側に上げ、さらにその土を畝上で整地した。
- ・なお、南北の畝の一部には、里芋の種イモが埋まっているため、種イモを回収後、畝を再度整地することとした。

✓ 畝たて追加作業 2026年4月4日（土） 9:00～10:30 晴

- ・里芋の種芋が回収されたので、畝の整地と畝および周辺の雑草取りを実施した。
- ・南北畝は10畝、東西畝は5畝 完成した。

✓ 播種 2026年4月18日（土） 9:00～10:30 晴

- ・西側10畝を「サッポロミドリ」、東側5畝を「おつな姫」の種を植えることとした。
- ・種の植え方は、畝の両端を畝の幅の中央に沿って、ロープを張り、三角ホーで軽く溝を作るようにして目印を付けた。
- ・畝の中央の溝を境にして左畝と右畝とし、左畝の幅の中央に2本指で第一関節が埋まる程度の穴を2か所空けて、1穴に1粒ずつ種を入れ、土を被せて軽く掌で抑えて覆土した。
- ・左畝の播種が終了したら、右畝に対して、左畝の播種の位置と重ならないようにチドリになるように播種を同様に行った。
- ・播種が終了した時点で、今回の検討課題である「カメムシ防虫効果」を各畝ごとに行うこととし、各品種ごとに、「無処理／木酢液等／もみ殻＋ネット／ネット」を割り振って進めることとした。
- ・もみ殻撒布については、播種後に、畝全体に満遍なく少し厚くまくようにした。播種したすべての畝に防虫ネットを直に被せて作業を終了した。

✓ 検討課題の割り振り

サッポロミドリ

12.5m

防虫ネット

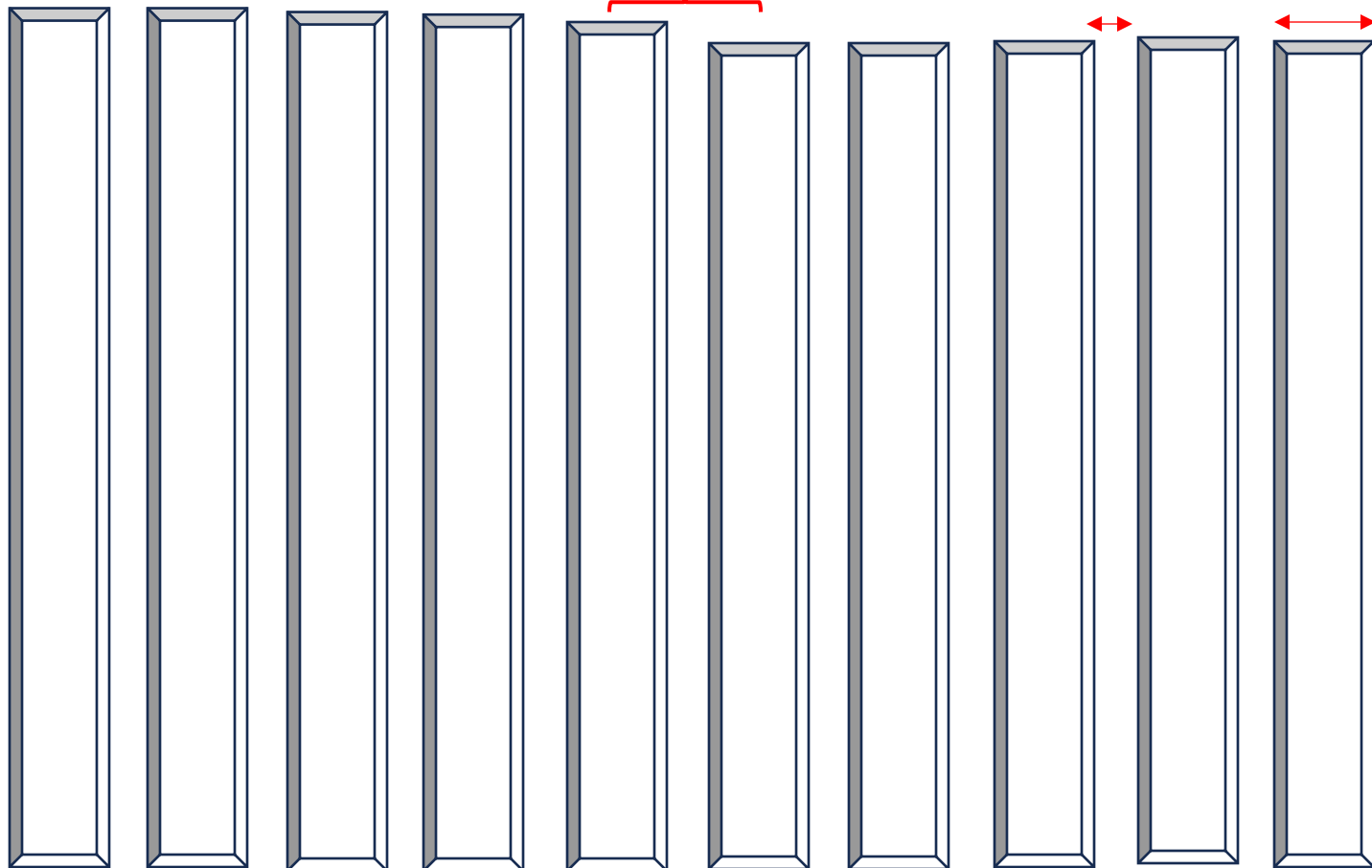
木酢液等

無処置

+もみ殻

0.5m

0.75m



おつな姫

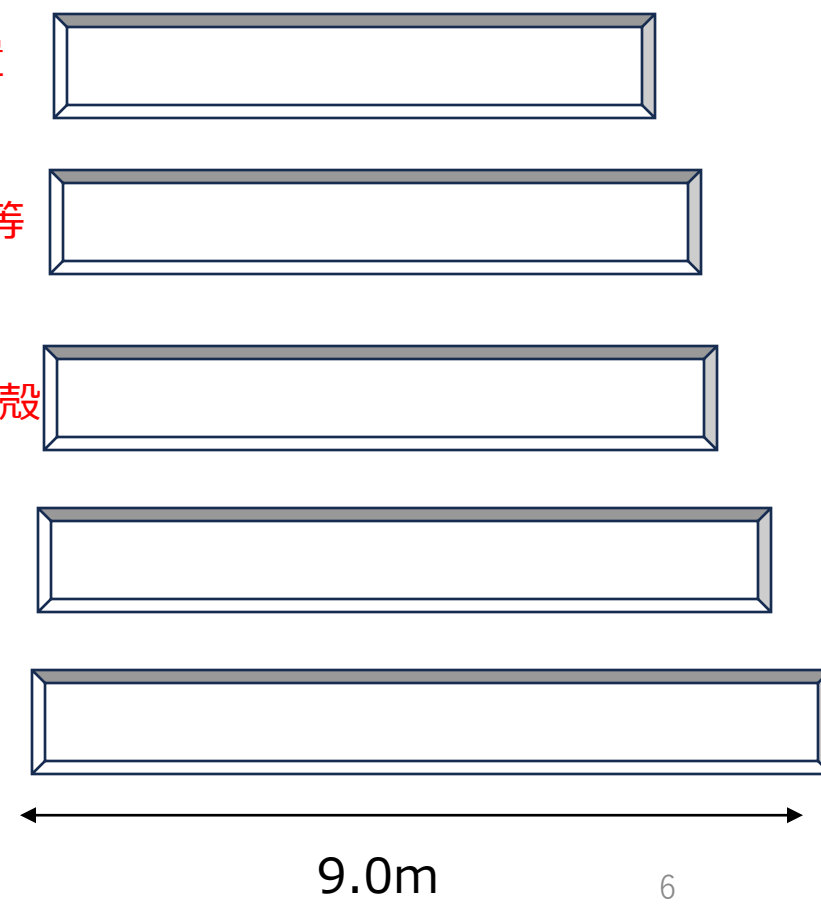
6.0m

無処置

木酢液等

+もみ殻

防虫ネット



9.0m

